

令和8年度
福岡地区小学校長会 総会・研究大会
(筑紫地区大会)



期日 令和8年7月31日(金)
会場 福岡リーセントホテル

福岡地区小学校長会

目 次

1 日 程	1
2 令和7年度 会務報告	2
3 令和7年度 決算及び会計監査報告	3
4 令和8年度 役員名簿	4
5 令和8年度 事業計画(案)	5
6 令和8年度 予算(案)	6
7 令和7年度 福岡地区小学校長会役職定年者及び早期退職者名簿	7
8 研修	
(1) 各地区小学校長研修会の実践	8～
① 宗像地区	8
② 糸島地区	10
③ 糟屋地区	12
④ 筑紫地区	14
(2) 講評	16
福岡県教育庁福岡教育事務所 主幹指導主事 原 クミ 様	
(3) 講演	17
演題 「次期学習指導要領を踏まえた学校経営と人材育成」	
講師 国立教育政策研究所 特任研究官 千々布 敏弥 様	
9 福岡地区小学校長会規約	18

～日 程～

- 受付 …… 12:45～13:15
- 1 開会行事 …… 13:15～13:30
- ① 開会の言葉
- ② 国歌斉唱
- ③ 会長挨拶 福岡地区小学校長会 会長 梶 幸男
- ④ 来賓挨拶 福岡県教育庁福岡教育事務所 所長 後藤 幸雄 様
筑紫地区教育事務連絡協議会長
太宰府市教育委員会 教育長 井上 和信 様
- ⑤ 来賓紹介
- 2 総会 …… 13:30～13:50
- ① 令和7年度会務報告
- ② 令和7年度決算及び会計監査報告
- ③ 令和8年度役員の紹介
- ④ 令和8年度事業計画案
- ⑤ 令和8年度予算案
- ⑥ その他
- 3 研修 …… 14:00～16:45
- ① 各地区小学校長会の実践報告(14:00～15:00)
講評(15:00～15:20)
福岡県教育庁福岡教育事務所 主幹指導主事 原 クミ様
- 〈休憩 15分間〉
- ② 講演 (15:35～16:45)
演題 「次期学習指導要領をめざした学校経営の在り方」
国立教育政策研究所 特任研究官 千々布 敏弥 様
- 4 閉会行事 …… 16:50～17:00
- ① 次期開催地区代表の挨拶
糸島地区小学校長会 会長 稲月 啓介 様
- ② 閉会の言葉
- 5 交流会 …… 17:15～19:15

令和7年度 福岡地区小学校長会 会務報告

1 福岡地区小学校長会4地区会長連絡会

- 【第1回】 令和7年4月18日（金）15：05～ 福岡県吉塚合同庁舎
○令和7年度福岡地区小学校校長研究大会についての協議
○各地区の研修計画について
- 【第2回】 令和7年8月 1日（金）11：00～ リーセントホテル
○福岡県校長会の課題及び課題解決のための方策協議
- 【第3回】 令和7年9月24日（水）15：05～ 福岡県吉塚合同庁舎
○令和7年度福岡地区小学校校長研究大会について意見交流
○近況交流
- 【第4回】 令和8年1月14日（水）15：05～ 福岡県吉塚合同庁舎
○令和7年度の取り組みについて
○各地区の成果と課題の交流

2 宗像地区小学校長会 事務局会議

※福岡地区小学校長会総会・研究大会実行委員会を「事務局会議」とする

- 【第1回】 令和7年4月14日（月） 15：30 メイトム宗像
○令和7年度福岡地区小学校長会総会・研究大会についての計画案協議
○令和7年度福岡地区小学校長会総会・研究大会についての業務分担確認
- 【第2回】 令和7年5月14日（水） 14：30 福津市立図書館
○来賓等案内文書確認，業務分担進捗状況確認
- 【第3回】 令和7年6月16日（月） 14：30 福津市ふくとぴあ
○研究紀要内容確認 他
- 【第4回】 令和7年7月11日（金） 14：30 福津市中央公民館
○令和7年度福岡地区小学校長会総会・研究大会細案，当日動態について
○実践発表リハーサル
- 【第5回】 令和7年7月23日（水） 15：30 福津市中央公民館
○大会運営最終確認

3 令和7年度福岡地区小学校長会総会・研究大会

(1) 期日 令和7年8月 1日（金）

(2) 会場 福岡リーセントホテル

(3) 内容

①開会行事

②総会

③4地区校長会構想発表

指導助言：福岡教育事務所 主幹指導主事 原 クミ 様

④講演 「新しい時代に求められる校長の学びと学校経営」

講師：国士舘大学 教授 元全国連合小学校会会長 喜名 朝博 様

⑤閉会行事

令和7年度 福岡地区小学校長会 一般会計決算報告

1. 収入

(単位:円)

費 目	令和7年度予算	令和7年度決算	増 減	備 考
繰越金	75,710	75,710	0	
会 費	354,000	354,000	0	3,000円×118校
県小学校長会	140,000	140,000	0	
助成金	50,000	50,000	0	
雑収入	1	22	21	利息等
合 計	619,711	619,732	21	

2. 支出

(単位:円)

費 目	令和7年度予算	令和7年度決算	増 減	備 考
会議費	50,000	50,000	0	都市校長会・地区大会会議費
事業費	50,000	50,000	0	特別会計へ(退職校長記念品料として)
渉外費	60,000	60,000	0	都市校長会・渉外、旅費等
研修費	380,000	406,379	-26,379	地区研究大会費(研究大会会場費・運用費)
事務局費	20,000	6,420	13,580	消耗品、通信費等
予備費	59,711	0	59,711	(研修費-26,379円を補填)利息含
合 計	619,711	572,799	46,912	

3. 残高

619,732 - 572,799 = 46,933 残金 46,933円

令和7年度 福岡地区小学校長会 特別会計決算報告

1. 収入

(単位:円)

費 目	令和7年度予算	令和7年度決算	増 減	備 考
繰越金	390,162	390,162	0	
積立金	50,000	50,000	0	一般会計より(退職校長記念品料として)
雑収入	3	53	50	利息
合 計	440,165	440,215	50	

2. 支出

(単位:円)

費 目	支 出	備 考
退職記念品料	130,000	26名分記念品代等(商品券代)
慶弔費	0	
合 計	130,000	

3. 残高

440,215 - 130,000 = 310,215 残金 310,215円

令和7年度 弘済会補助金決算報告

1. 収入

(単位:円)

教育振興事業助成金	141,600
-----------	---------

2. 支出

(単位:円)

費 目	支 出
教材・教具購入費	19,200
講師謝礼費	50,000
印刷製本費	76,890
消耗品費	7,270
通信費	0
会場借上費	0
合 計	153,360

※助成金総額を4地区均等割で配当(1,200×学校数)

糸島地区(19,200) 筑紫地区(56,400)
宗像地区(25,200) 糟屋地区(40,800)

3. 残高

141,600 - 153,360 = -11,760

弘済会助成金を各地区で有効にご活用いただきありがとうございます。

一般会計・特別会計それぞれの残金については令和8年度に繰り越します。
皆様のご協力に感謝申し上げます。

令和7年度福岡地区小学校長会 会計 宗像市立赤間西小学校 高橋 茂 印

監査の結果、相違ないことを認めます。

令和8年 3月19日

福岡地区小学校長会 監事 那珂川市立安德南小学校 落合 弘子 印

令和 8 年度 福岡地区小学校長会 役員名簿

(敬称略)

役職	氏名	所属校	学校電話番号
会長 担当地区	梶 幸男	大野城市立大野小学校	092-581-1027
副会長 糟屋	緒方 勝彦	久山町立久原小学校	092-976-0008
副会長 宗像	藤 周作	宗像市立東郷小学校	0940-36-2064
副会長 糸島	稲月 啓介	糸島市立前原南小学校	092-322-5200
事務局長 担当地区副会長	河鍋 有一	筑紫野市立二日市東小学校	092-922-2504
会計 担当地区	赤坂 勝	大野城市立月の浦小学校	092-595-6776
監事 次期開催地区	重富 紀子	糸島市立前原小学校	092-322-3266

令和8年度 事業計画及び主要会務（案）

1 福岡地区小学校長会会長連絡会（校長代表者連絡会において）

【第1回】令和8年4月17日（金）15：05福岡県教育庁福岡教育事務所

○これからの校長に求められる資質・能力について

○令和8年度福岡地区小学校長研究大会についての計画案協議

【第2回】令和8年9月25日（金）15：05福岡県教育庁福岡教育事務所

○これからの教頭・主幹教諭に求められる資質・能力について

○令和8年度福岡地区小学校長研究大会反省

○令和9年度福岡地区小学校長研究大会の運営について

【第3回】令和9年1月13日（水）15：05福岡県教育庁福岡教育事務所

○これからの初任者研修において大切なこと

○令和9年度福岡地区小学校長研究大会の実施計画案検討

○各地区小学校長会活動の成果と課題について

2 福岡地区小学校長会研究大会事務局会議

※研究大会事務局は、筑紫地区実行委員会をこれにあてる

【第1回】令和8年5月13日（水）15：00大野城市立大野小学校

○福岡地区小学校長研究大会についての計画案協議

○福岡地区小学校長研究大会についての業務分担確認

【第2回】令和8年6月1日（月）15：00大野城市立大野小学校

○計画案協議及び業務進捗状況確認

○来賓等案内状発送状況の確認・準備 他

【第3回】令和8年6月18日（木）15：00大野城市立大野小学校

○会場設営案・総会及び研修会進行案審議

○各地区実践報告について 他

【第4回】令和8年7月1日（水）15：00大野城市立大野小学校

○参加者（一般・来賓）最終確認

○当日動態確認他

【第5回】令和8年7月24日（金）9：30太宰府市立太宰府南小学校

○大会最終確認

○大会運営リハーサル 他

3 令和8年度福岡地区小学校長研究大会

令和8年7月31日（金）福岡リーセントホテル福岡市東区箱崎2-52-1

（1）開会行事・総会

（2）研修

① 各地区校長会の実践報告

講評 福岡教育事務所主幹指導主事 原 クミ 先生

② 講演

国立教育政策研究所 特任研究官 千々布 敏弥 先生

（3）閉会行事

令和8年度 福岡地区小学校長会 一般会計予算(案)

1. 収入

(単位:円)

費 目	令和8年度予算	令和7年度予算	増 減	備 考
繰 越 金	46,933	75,710	▲ 28,777	
会 費	354,000	354,000	0	¥3,000×118校
県小学校長会	140,000	140,000	0	地区運営補助金
助成金	50,000	50,000	0	弘済会より
雑 収 入	1	1	0	利息等
合 計	590,934	619,711	▲ 28,777	

2. 支出

(単位:円)

費 目	令和8年度予算	令和7年度予算	増 減	備 考
会 議 費	50,000	50,000	0	郡市校長会・地区大会会議費
事 業 費	50,000	50,000	0	特別会計へ(退職校長記念品料として)
渉 外 費	60,000	60,000	0	渉外、旅費等
研 修 費	390,000	380,000	10,000	地区研究会費(会場費・講師謝金)
事務局費	10,000	20,000	▲ 10,000	消耗品、通信費等
予 備 費	30,934	59,711	▲ 28,777	
合 計	590,934	619,711	▲ 28,777	

令和8年度 福岡地区小学校長会 特別会計予算(案)

費 目	令和8年度予算	令和7年度予算	増 減	備 考
繰 越 金	310,215	390,162	▲ 79,947	
積 立 金	50,000	50,000	0	一般会計より(退職校長記念品料として)
雑 収 入	50	3	47	利息等
合 計	360,265	440,165	▲ 79,900	

※特別会計については、昭和60年総会において積み立て形式が承認されている。

令和8年度 弘済会補助金予算(案)

1. 収入 (単位:円)

教育振興事業助成金 141,600

※助成金総額を4地区均等割で配当(1,200×学校数)

糸島地区(19,200) 筑紫地区(56,400)
宗像地区(25,200) 糟屋地区(40,800)

2. 支出

(単位:円)

費 目	支 出
教材・教具購入費	19,200
講師謝礼費	50,000
印刷製本費	64,800
消耗品費	7,600
通信費	0
会場借上費	0
合 計	141,600

令和7年度 福岡地区小学校長会 役職定年及び早期退職者

(敬称略)

地区名	御氏名	最終所属校
筑紫	高木 淳一	筑紫野市立二日市東小学校
	小林 一仁	筑紫野市立阿志岐小学校
	早野 年博	筑紫野市立山家小学校
	渡邊 しま	筑紫野市立天拝小学校
	落合 純哉	春日市立春日小学校
	高橋 明子	春日市立春日東小学校
	長濱 潤	春日市立須玖小学校
	鬼木 務	春日市立春日南小学校
	藤田 秀之	大野城市立大野南小学校
	西村 周治	太宰府市立水城西小学校
	陶山 嘉一	那珂川市立安德小学校
糟屋	立石 新次	古賀市立青柳小学校
	大住 奈留美	古賀市立舞の里小学校
	西村 眞輝	篠栗町立篠栗小学校
	島居 奈緒美	篠栗町立北勢門小学校
宗像	杢形 美奈子	宗像市立南郷小学校
	近藤 浩美	福津市立上西郷小学校
糸島	伊藤 由美子	糸島市立加布里小学校

宗像地区における校長研修会の構想

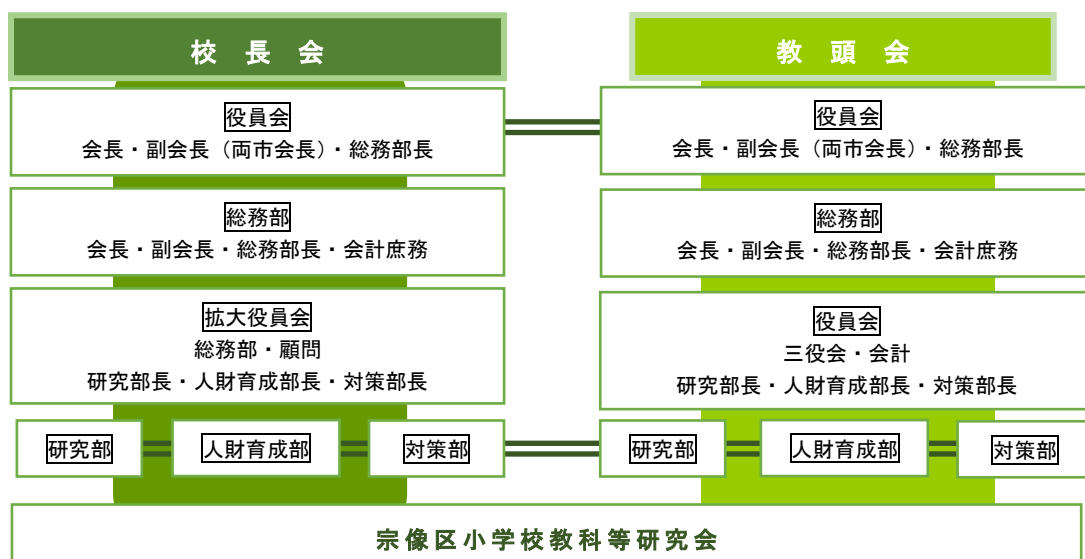
1 研究テーマ

「持続可能な宗像教育の深化」

- ・基盤から深化へ：昨年度の「教育基盤の創造」を土台とし、本年度は教育の本質を突き詰める「深化の年」として研究を推進する。
- ・未来への人財育成：10年後の宗像教育を見据え、教頭・主幹教諭・教諭の資質能力向上を組織的に図る。
- ・ウェルビーイングの視点：「教師としての成長実感と有用感を得られる仕組の深化と共有」を念頭に置き、経営の根幹である教員のウェルビーイングと子ども主体の授業改善を一体化させた方策を創造する。

2 組織及び主な研究内容

(1) 組織図



(2) 各部の研究内容

① 研究部：校長としての経営力向上

- ・「学校経営15の方策」の自己診断に基づく研修の企画・運営
- ・「メンタリングペア」の設定とメンターを含むグループ訪問による新任校長支援の充実
- ・民間企業を対象とした「トップマネジメント視察研修」による学校経営力の向上

② 人財育成部：人財育成による教頭・主幹教諭・教員の資質・能力の向上

- ・急激な世代交代を見据えた、次代を担うリーダー層の計画的・意図的な育成
- ・「区内留学」や合同研修の開催等、教頭会と連携した仕組の構築
- ・「成長実感」と「有用感」を軸とした、キャリアステージに応じた資質能力の向上

③ 対策部：危機管理能力の高い職場づくり

- ・不祥事防止への強い覚悟をもち、管理職の危機管理能力を高める研修の開催
- ・緊急時対応力を高め、危機管理マニュアルの機能化に向けた教頭会との連携
- ・ウェルビーイングを確保する、働き方改革と心理的安全性ある職場づくりの実践交流

3 特徴的な取組（人財育成部）

○組織的な人財育成の推進 ～「人が育つ宗像」を目指したつ5つの方策～

教師としての成長実感と有用感を得られる仕組の深化と共有を具現化するため、以下の方策を展開した。

(1)「人財育成の手引き」を活用した校長会ミニ研修の定例化



【写真1】ミニ研修での対話

昨年度作成の「人財育成の手引き」を自校経営に落とし込むため、年5回の校長会ミニ研修（学び合い）を定例化した。事前に手引きを熟読し、自校の課題をもとに少人数グループで対話することを通して、他校の実践知を自校のマネジメントへ反映させることを目指している。

(2) 個々のニーズに応じた実践力を高める「区内留学制度」の深化

本地区独自の「区内留学制度」は、経験4年以上の幅広いキャリアの教職員を対象に実施している。優れた指導技術や経営ノウハウを持つ他校の教師・管理職に1日密着し、自問自答を通して自らの指導を振り返る。マッチングにあたっては、「福岡県教員育成指標」に基づき、留学希望者のニーズと受け入れ側の強みを緻密に対応させている。昨年度から主幹教諭も対象に広げるなどさらに取組にブラッシュアップを図っている。

(3) 学校の教育活動と一体化した「2・3年次教員育成研修」の展開

本年度から2・3年次教員に対し、各教科等研究会のコア・ティチャーや教科等指導教員をアドバイザーとしてマッチングし、授業参観と自校への訪問指導を組み合わせた「双方向の学び」を展開している。日常的な管理職による「教室訪問」の時間と本研修を重ね合わせて実施する工夫により、無理のない確実な若手育成を目指している。

(4) キャリアの見通しをもたせる「Future Growth（教員キャリア形成）研修会」

長期派遣研修等の経験者を講師として招聘し、その学びや成長報告を直接聴く機会を設けた。今年度「Future Growth 研修」へと名称を刷新し、今後のキャリアに見通しをもたせ広く学ぶ意欲を高める。報告会後の懇親会（対話）も併せて行うことで、受け身の学びに終わらせず能動的な意欲や希望をもたせることを目指している。

(5) 紹介チラシによる加入促進と「教科等全員研修会」の一斉開催

授業改善の中核を担う教科等研究会の活性化を図るため、各部会作成の「研究会紹介チラシ」を事務局で取りまとめ全学校へ発信した。研究会への心理的ハードルが下がったことで、本年度の加入者は昨年度より増加した。また10月に「教科等全員研修会」を一斉開催し、地区全体の授業力の底上げを目指す。



【写真2】研究会紹介チラシ

4 振り返りアンケートによる成果の検証と有効性の確認

昨年度より、全ての取組において、指導・受け入れ側および受講・留学側の双方を対象に振り返りアンケートを実施している。「成長実感」や「自己有用感」を得られたという前向きなフィードバックが多数寄せられており、仕組の有効性を実感している。本アンケートは本年度も実施予定であり、得られたデータを基にさらなる深化を図っていききたい。

糸島地区における校長研修会の構想

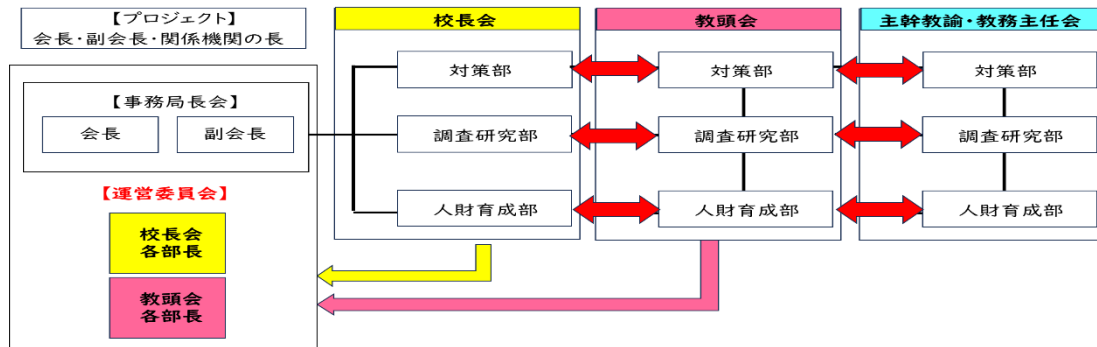
1 本年度のテーマ

『つなぐ・広げる・高める』～連携と協働を通して、糸島市の教育力を拓く人財育成～

教職員の大量退職と若年化が進む中、職員を学校の「財産」＝「人財」と捉え、校長会・教頭会・主幹教諭会が有機的に連携し、組織的な育成体制を構築する

2 人財育成

(1) 組織改革



(2) 校長会各部と教頭会、主幹教諭会との連携

① 事務局

【目的】運営委員会に付議する事項についての協議や運営委員会から委任を受けた事項についての協議・決定を行う

【連携・協働内容】

- ・教頭会会長や副会長への指導助言
- ・校長会の方針の説明

② 調査研究部

【目的】研究主題の究明や市内の諸教育課題解決のために、校長の理念と指導性の向上を図るとともに、創意ある教育課程の編成・実施・評価の実践研究を行う

【連携・協働内容】

- ・研修会の運営
- ・教育 DX 化の推進
- ・県校長会調査研究部の事業連携

③ 対策部

【目的】未来を生き抜く児童を育てる特色ある学校づくりに向け、諸教育条件の整備充実と対応に努める

【連携・協働内容】

- ・要望書作成
- ・働き方改革
- ・不登校（不登校兆候）対応
- ・危機管理マニュアル

④ 人財育成部

【目的】糸島市小学校教職員の指導力、授業力、学級経営力及び学校経営参画意識等の向上のために、人財育成リストに基づいた組織的・計画的・継続的な人材育成を行う

【連携・協働内容】

- ・人財育成に係る指導方策の計画・実施・評価
- ・サークル活動支援
- ・教育論文、教育実践報告執筆への働きかけ
- ・教頭会・主幹教諭会への指導
- ・糸島市教育センターとの連携（研修体制づくり）

(3) 人財育成リストの活用

① 人財育成リストの作成

- ・教職員一人一人の成長を支え、計画的に人財育成を進めるための資料
- ・教育長に提出し、市教委と連携しながら、将来的な管理職や主幹教諭等のキャリアを見通すための資料という、二つの側面をもつ。中・長期的な見通しをもって人材育成に積極的に活用している。

② 市内統一した観点による評価・選定基準

A 管理職候補（校長） B 管理職候補（教頭）

【観点】 1 構想力・企画力 2 情報収集・発信力 3 遵法精神 4 人心掌握 5 覚悟・その他

C 主幹教諭・指導教諭候補 ①（本年度受験） ②（2～3年後に受験）

【観点】 1 目標管理 2 危機管理 3 使命感・責任感 4 交渉力・人柄

③（4～5年後に受験） ④（6～7年後に受験）

【観点】 1 授業経営 2 人間関係 3 保護者対応等 4 分掌・企画力等

D 県・事務所・市 指導主事 候補

【観点】 1 目標管理 2 危機管理 3 使命感・責任感 4 交渉力・人柄

E 1 附属本官・附属長研・その他大学院 等候補

2 県教育センター長研（教科・マネジメント） 等候補

F～H市教育センター・県教育マイスター、県人権教育指導者等候補

【観点】 1 学習指導 2 生徒指導 3 研修意欲 4 使命感・責任感

③ 評価基準の作成

人財育成リストの評価判断の適正化を図る基準の作成

(4) サークル活動の支援

① キャリアをつなぐサークル活動の強化

- ・クリアシアンサークル（指導教諭・主幹教諭、教頭等）※校務運営に携わる者
校長による講話 ・管理職試験対策 ・次期学習指導要領についての学び
- ・アンビションサークル（3年目以上）※教科の力量を高めたい者
実技指導に関する研修の実施
- ・ディアスサークル（1・2年目） ・学級経営中心、横のつながりの強化

② 働き方改革や研修の充実の視点からの改善の方向性

- ・自主的なサークル活動を推進しつつ、勤務時間内の研修へと移行
- ・教頭会、主幹教諭会、教科等研、各学校の研修体制づくりの推進

(5) 教頭会・主幹教諭会の指導・支援及び連携

- ・新任教頭、主幹教諭への支援の充実、校長による論文指導についての講話
- ・各会のニーズに即した協議内容の設定、人財育成についての定期的な協議

(6) 糸島市教育センターとの連携

- ・研修体制づくり、教科等研との連携

(7) 校内人財育成、学校間人財育成の取組

① 学年担任制

- ・学年の児童を学年教員全員で指導するシステム
- ・すぐそばで指導力の高い指導法を日常的に学べる
- ・複数の目による多角的な児童理解を育む
- ・教科担任制を組み合わせることで相乗効果が生まれる

② 学校間、シャドーイングの実施

- ・実際の場面を通して「教科書にはない、現場の指導」を学べる

糟屋地区における校長研修会の構想

1 研究テーマ

豊かな未来を創り出す子どもを育てる学校経営 ～自校の特徴的な取組を推進する校長のリーダーシップとマネジメントを通して～
--

2 組織及び主な研究内容

本地区における研修組織は次のとおりである。

部 会 名		活動内容や運営について
総 務 部		○校長会の運営全般(月 1 回総務部研修会で運営の事前協議、確認) ○関係機関との連携・渉外 ○県各種調査、全連小、九小協関係
専 門 部	主題研究部 6 名 (専門課題研修 3 回) (重点課題研修 1 回)	○共通の研究主題設定と提案 ○日々の教育活動に生きる学校経営要綱の作成と更新 ○学校教育目標・重点目標の設定と達成のための方策 ○学校経営の質を高めるための評価 等 ○学校経営要綱集の発行
	対策部 6 名 (専門課題研修 2 回) (重点課題研修 1 回)	○学校危機に対応するための法的知識と事例研究 ○信頼される学校づくりの基盤となる不祥事防止に関わる研修 ○教職員の働きがいと教育の質向上を図る働き方改革の事例研究 ○G I G A スクール構想の推進に向けた情報共有や事例研究 ○学校経営の先進的実践校の視察(全員参加)
	生徒指導部 6 名 (専門課題研修 2 回) (重点課題研修 1 回)	○不登校対応及びいじめ防止に関する事例研究 ○発達支持的生徒指導の事例研究 ○特別な支援を要する児童への生徒指導や教育支援体制等に係る研修
	人財育成・ 連携部 9 名 (専門課題研修 4 回)	○人事評価研修 ○3 人チームによる若年校長の育成(メンティの求めに応じた継続的な支援) ○副校長・教頭、主幹教諭、ミドルリーダーなど育成の事例研究・情報交換 ○R 7 福岡県研究主題に沿い、人財育成を中心に取り組んだ実践報告

研修は、「専門課題研修」と「重点課題研修」の二つの柱で構成し、各部会において計画的に実施することで、内容の精選と実効性の向上を図っている。

○ 専門課題研修

学校経営、生徒指導、人財育成などの各領域に応じた研修を実施するとともに、学校危機や働き方改革についての研修を行う

○ 重点課題研修

① 県外視察研修

糟屋地区共通の経営課題解決に向けた他県の先進的な実践に触れ、特色ある学校づくりに向けた具体的な方策を模索していく。【対策部】

② 講師招聘研修

糟屋地区における喫緊の課題解決に向け、専門的な知見を得ることをねらいとして、年間 2 回の講師招聘研修を実施する。

本年度は「学校経営に関する研修」【主題研修部】、「生徒指導に関する研修」【生徒指導部】を行う。

3 特徴的な取組

【人財育成のための校長会としての取組】

糟屋地区小学校長会は、34名の会員のうち、1年次4名、2年次9名、3年次5名と、経験3年以下の校長が半数をこえる年次構成となっている。人財育成・連携部では、「学校の人財育成は校長のマネジメント力の向上が何よりも大切である」という考えに立ち、以下の3つの取組を中心に若年校長の育成を行っている。

(1) 人事評価に係る校長のマネジメント研修

人事評価を人財育成につなげるために、5月に人事評価に係る面談に向けての自己評価表の工夫と活用、記録の工夫や記録をもとにした指導のあり方などについて研修を行った。特に当初面談の進め方については、面談までの流れや留意点、具体的事例をもとにした指導助言のあり方を示した。また、糟屋地区小学校長会では、教員の基本情報や評価情報を入力すると連名簿や業績評価書、業績評価開示書が自動作成できるエクセルファイルを共有し、そのエクセルファイルを用いた業績評価に係る研修を11月に行った。煩雑になりがちな業績評価の実務作業を簡素化できたことは、最終面談の充実にもつながった。人事評価を生かした人財育成研修を定期的に行うことは、学び続ける校長としての自覚向上に効果的であり、若年校長に、組織的、計画的、効果的人事評価に向けた面談を通しての人財育成システムの充実のための見通しを示すことができた。



【部長による人事評価に係るマネジメントの説明】

(2) 3人チームによるメンタリング研修

メンタリング研修は、令和7年度からはメンター、ミドル、メンティの3名を1グループとし、メンティの求めに応じて継続的な支援を行ったり、年間を通してお互いに相談し合ったりする体制とした。メンタリング研修を行うにあたり、校長の業務を15の項目に整理した「課題選択シート」を活用しメンティがあらかじめ視点をもって、自身のリーダーシップや マネジメントを見つめ直すことができるようにしている。経験年数が少ないメンティの校長が自身の学校経営を見つめ直すとともに、メンター・ミドルの助言をもとにして、自ら課題解決を図り、学校経営に生かすために有効な研修となっている。学校経営要綱交流会もメンティの学校経営要綱作成上の困り感に対してメンター・ミドルからの助言を行うメンタリングの形式で行った。メンティは次年度の学校経営の構想を具体化するための手立てを得ることができ、メンター・ミドルは自校の学校経営要綱を多面的にふり返り、新たな発想を得ることができた。



【メンティへのメンター・ミドルの助言】

(3) 「学校経営ナビ」の利活用

糟屋地区小学校長会では、「校長がつかさどる主な校務」に関わる知恵や見識を会員間で共有したり、新任校長が、校長として赴任当初より的確に職務に当たったりできるよう、各校の特徴的な取組をリーダーシップとマネジメントの観点で117のコンテンツに整理し、学校経営の補助資料「学校経営ナビ～学校をつくる校長の12か月」としてまとめている。「学校経営ナビ」は各種研修を行う際の補助資料や、メンタリング研修の資料として活用されており、若年校長が、マネジメントの視点を明確にし、自身の学びを支えるためのよりどころとなっている。



筑紫区における校長研修会の構想

1 研究テーマ

志をもち多様な他者と協働しながら、キャリアステージに応じた資質・能力を自ら高める教職員の育成

2 組織及び主な研究内容

(1) 組織について

筑紫区校長会組織は右図参照。

この中で、研修については研修部が担う。

①校内人材育成（経営研究）

区代表1名：各市代表5名

②教頭会・主幹教諭育成

区代表1名：各市代表5名

③中堅・若年育成

区代表1名：各市代表5名

(2) 研究内容について

①目的

キャリア・ステージ別の教職員像を共有し、区・市・校内で実施する人財育成の取り組みを適切に組み合わせ、実効性・効果を高める。

②三つのキャリアステージの目的と対象

ア 校長	校長の経営力向上	校長、新任校長
イ 発展 ② ③	管理職等の資質・能力向上	副校長・教頭、主幹教諭
ウ 養成～充実・進化	教職員の力量向上	中堅教員・若年教員

③本年度の主な研究内容

ア 校長の経営力向上

○校長個々の人財育成を中核とした学校経営力の向上

※校長の経営力向上と人財育成に必要な資質・能力の向上

○新任校長研修

イ 管理職等の資質・能力の向上

○教頭会・主幹教諭会の支援

※副校長・教頭・主幹教諭・指導教諭の人財育成

ウ 教職員の力量向上

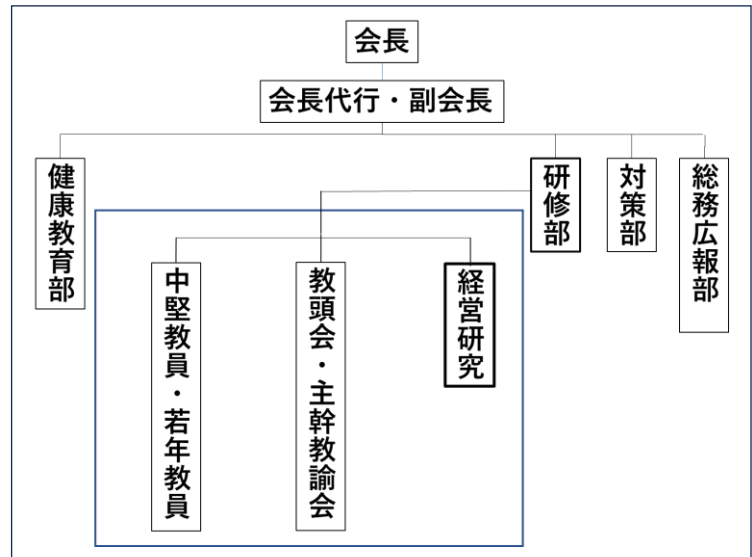
○中堅教員・若年教員への支援

○教科等研究会会長会・部長会

○教科等研究会ブロック授業研修会

○教育論文執筆支援

※若年教員・中堅教員の人財育成



志をもち多様な他者と協働しながら、
キャリアステージに応じた資質・能力を自ら高める教職員の育成

【校長の経営力向上】

- ①経営研究
(対象) 校長
(内容) 校長個々の人財育成を
中核とした学校運営
- ②新任校長研修会
(対象) 新任校長
(内容) 学校経営 人事評価 等

【管理職等の資質・能力向上】

- ③教頭会・主幹教諭会への支援
(対象) 副校長・教頭、主幹教諭
(内容) 学校運営、危機管理 等

【教職員の力量向上】

- ④中堅教員・若年教員への支援
(対象) 中堅教員・若年教員
(内容) 留学制度(区・市・校内)
中堅教員サークル
若年教員サークル
- ⑤教科等研究会会長・部長会
(対象) 各教科等研 会長・部長
(内容) 運営方針 予算関係
年間計画等
- ⑥教科等研ブロック授業研修会
(対象) 所属教職員
(内容) 授業公開 授業協議会
指導助言 等

3 特徴的な取組

【春日市テーマ】

志をもって多様な他者と協働し 幸せな学校を創る次世代人財の育成

(1) 春日市校長会で取り組む人財育成策の背景

右図1は、本市の令和7年度の教職員構成の割合を表したものである。20代及び30代が全教職員の過半数を占めている。また、若年層と一緒に資質・能力を高めていく40代が一番少なくなっている。

このような状況から、本市では若年層はもとより中堅層の人財育成が急務であると判断し、市内間で人財を育て合う人財育成策を企画し、取り組むこととした。

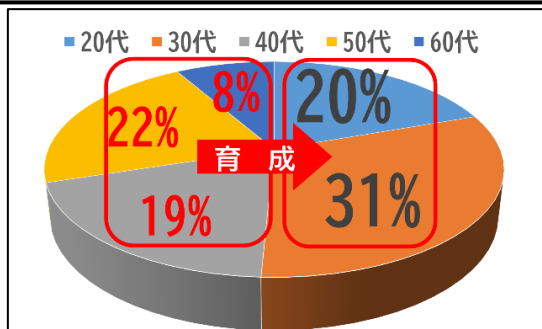


図1 春日市の教職員構成（R7年度）

(2) 4つの人財育成策

ア 次期教頭候補の志を高める「次世代管理職 Workshop」（対面、年1回実施）

割合が少ない40代の人財育成のためには、教頭志願者を増やすこと、そのために必要な教頭職のやりがいを見いだす取組が必要であると考え、本事業を設定した。研修会前の事前アンケートをもとに教頭職に求められる資質・能力（図2）の現在地を把握し、自身の強みの生かし方、弱みへの向き合い方を協議して、教頭職への志を高めた。教頭職を目指す立場にある現主幹教諭にとって、資質・

魅力ある教頭を目指すために… 資質・能力の六層構造			
資質・能力	内容	外からの観察・評価	個別的・普遍的対応
能力	A 勤務校での問題解決と課題達成の技能	易	個別的
	B 教科指導・生徒指導の知識・技術		
	C 学級・学校マネジメントの知識・技術		
	D 子ども・保護者・同僚との対人関係力		
	E 授業観・子ども観・教育観の錬磨	難	普遍的
資質	F 教職自己成長に向けた探究心		

図2 教職員に求められる資質・能力の六層構造

能力の具体を知り、自身の現在地を把握したことで、市内主幹教諭全員で教頭職を目指そうとする意欲を高めることができたと考えている。

イ 次期主幹候補の志を高める「Next School Leaders forum」（オンライン、年1回実施）

教頭志願者の増加同様、主幹教諭志願者の増加も本市の課題である。そこで、主幹教諭の職務を知り、やりがいを見いだす研修が必要であると考え、本事業を設定した。現主幹教諭の実践発表及び校長経験豊富な校長講話を通して、大変さはあるが「学校のために動く＝子どものために動く」という構図に納得感を覚えたことで、それをやりがいとして感じ、学校経営への参画意識及び主幹教諭への志願意識が高まったと考えている。

ウ 先輩教員の技を内省的に学び、自身の目指す方向性を見いだす「市内留学」（9月～1月実施）

教職経験10年以内の若年教員の資質・能力育成は、校内はもとより、市内間で育成し合うことが持続可能な人財育成策であると考え、本事業を設定した。これは、筑紫地区を構成する五市すべてで行っているため、区内全体で若年教員の資質・能力向上を図ることができると考えている。令和7年度は30名弱の若年教員が本事業を経験し、事後の報告書では、自身が目指す資質・能力の具体が明らかになったと、内省からくる感想が多数挙がり、若年教員の資質・能力育成の一端を担ったと考えている。

エ 初任者の安心感を高める「ルーキーズ・カフェ」（対面・オンライン、7月～2月実施）

初任者の離職要因の一つに、職場の人間関係が挙げられる。そこで、初任者の孤立を防ぎ、心理的安全性を確保するために、本事業を設定した。開始時刻16時、1回30分間設定、適時に富んだテーマ話題&雑談設定で参加しやすい状況づくりを行った。すべてのカフェ終了後のアンケートでは、同期との関係性の向上といった職場の人間関係づくりに寄与する感想があり、一定の手応えを感じている。

(3) 今後の方向性

- 持続可能な人財育成のためには、市教委、教頭会、主幹会とも連携を図り、一体となって人財を育成する仕組みと意識づくりが重要である。

各地区小学校長研修会の構想

宗像地区	福津市立福間南小学校	校長	村本 朗子
糸島地区	糸島市立姫島小学校	校長	森 禎範
糟屋地区	古賀市立小野小学校	校長	富永 展弘
筑紫地区	春日市立白水小学校	校長	二串 英一

【 M E M O 】

講 評

福岡県教育庁福岡教育事務所

主幹指導主事 原 ク ミ 様

講演

演題「次期学習指導要領をめざした学校経営の在り方」

講師 国立教育政策研究所 特任研究官 千々布 敏弥 先生



【講師 千々布 敏弥（ちちぶ としや）氏 紹介】

所属・職名 国立教育政策研究所研究企画開発部

教育研究情報推進室特任研究官

専門分野 教育経営学、教員研修、授業研究

学校改善や学力向上、教育委員会改革、キャリア教育などを専門とする教育学研究者。国立教育政策研究所研究企画開発部の特任研究官として、我が国の教育政策の調査研究や学校現場への支援に取り組んでいる。

公立学校教員や教育行政の分野に携わり、学校組織マネジメント、授業改善、教員研修、学力向上施策の研究を推進。特に、全国の教育委員会や学校の先進的な実践を調査・分析し、その成果を広く発信している。

<主な著書・編著>

- ・『学力がぐんぐん上がる急上昇県のひみつ』 教育開発研究所 2021 年
- ・『先生たちのリフレクション』 教育開発研究所 2021 年
- ・『先生たちのフロネーシス』 教育開発研究所 2025 年 等多数

【MEMO】

福岡地区小学校長会 規約

第1条(名称)

この会は、福岡地区小学校長会と称する。

第2条(目的)

本会は、福岡地区小学校相互の連絡を密にし、小学校教育の振興を図ることを目的とする。

第3条(事務局)

本会の事務局は、会長の地区に置く。

第4条(組織)

本会は、福岡地区各区の校長会を以て組織する。

第5条(事業)

本会は、第2条の目的を達成するために、下記の事項を行う。

1. 福岡地区小学校長会研究大会の開催
2. 福岡地区小学校の諸問題の調査研究
3. 福岡県小学校長会並びに各種教育団体との連絡提携
4. その他本会の目的達成に必要な事項

第6条(役員)

本会に次の役員を置く。

会長1名 副会長3名(内会長代行1名) 事務局長1名 会計1名 監事1名

第7条(役員選出)

1. 会長及び会長代行は、幹事会において選出する。
2. 副会長は、各区の校長会長を充てる。
3. 事務局長及び会計は、会長が委嘱する。
4. 監事は、次期開催地区より選出する。

第8条(役員の任期)

1. 役員の任期は1年とし、再任を妨げない。
2. 補欠による役員は前任者の在任期間とする。

第9条(役員の任務)

1. 会長は会務を整理し、本会を代表する。
2. 副会長は会長を補佐する。
3. 事務局長は会長の命を受け、事務を処理する。
4. 会計は会長の命を受け、会計事務を処理する。
5. 監事は本会の会計を監査する。

第10条(会議)

本会議は、総会及び役員会・幹事会とする。

第11条(総会)

1. 総会は年1回開催し、本会の目的達成に必要な事項を協議する。但し、必要に応じて臨時に開催することができる。
2. 総会の開催地区は、筑紫・糸島・糟屋・宗像の順とする。

第12条(役員会)

役員会は必要に応じて、会長が招集する。

第13条(幹事会)

幹事会は、郡市会長を以て組織し、総会の委任事項、緊急な事項及び本会の目的達成に必要な事項を協議処理する。

第14条(会計)

1. 本会に要する費用は、各区校長会の負担金、その他の収入を以て充てる。
2. この会の会計年度は、4月1日に始まり翌年3月31日に終わる。

第15条(規約改正)

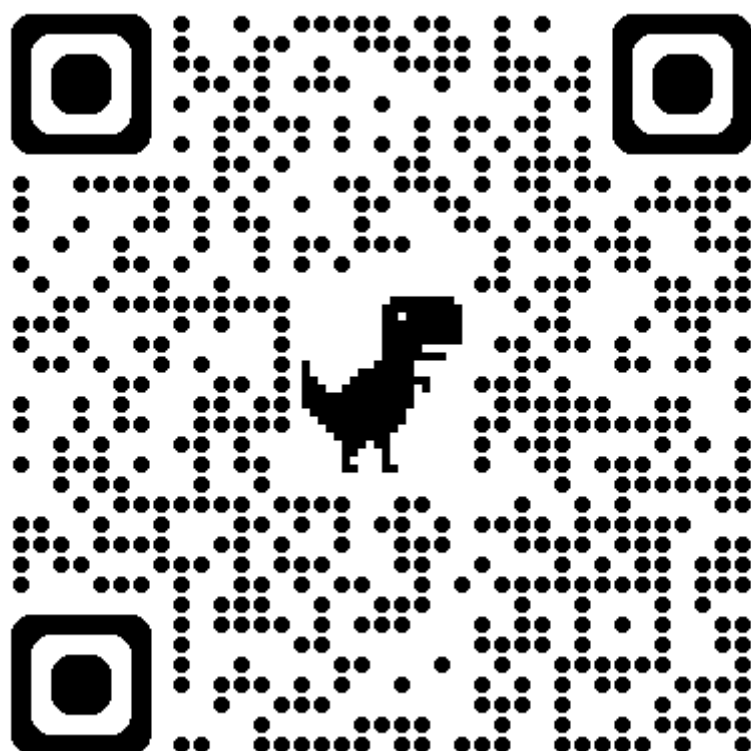
規約の改正は総会において行う。

附則 この規約は、平成10年9月10日より施行する。

この規約は、平成11年9月9日一部改正する。

本日は、ありがとうございました。下記 QR コードを読み取り、アンケートにお答えください。

「開閉会式・総会」「実践報告及び講評」「講演」「運営全般」についての簡単なアンケートとなっています。もしご意見・ご感想を記入いただくとありがたいです。



8月3日（月）までに、ご回答お願いします。

